



「提灯こそ日本の灯り・日本の文化」



提灯／提灯舗かわい

安政年間から150年、上方文化を灯し続ける「かわい」の若旦那が海外で気づいたこと。「外国人が見た日本のまちの風景には必ず提灯がある」。提灯は日本文化のシンボル。祭りや仏事だけのものではありません。最近では、心癒されるおしゃれな灯りとしても再評価されつつあるのです。